

尾張北西部の土木業者らでつくる「宮土木研究会(伊貝英治会長)」が17日、危険を感じた児童ら

が助けを求め「こども110番

」の建設事務所

」を計51

カ所発足させた。子供

が狙われる事件が多発

しているのを受け、業

界ぐるみで児童・生徒

の安全に「役買」う。

こども110番に名

乗りを上げたのは、研究会に参加

する業者のうち、一宮分会24、稲沢分会14、江南分会13の建設事務

所。「地域の子供は地域で守る」をモットーに、事務所にこども110番の場所であるこ

とを示すのぼりやステッカーを掲げ、子供たちの避難

所となる。

この日、一宮市木曾川町

外割田の大興建設木曾川支

店で発足式があり、伊貝会

長は「子供は日本の宝。犯罪が多いので

業界として地域に貢献したい」とあいさ

つした。地元

の市立黒田小

学校の児童約20人も参加し、「怖いと感じたら駆け込みます」と話

していた。【井上章】

建設事務所に「こども110番」

尾張北西部
土木業者ら

「こども110番の建設事務所」ののぼりを見る
一宮市立黒田小学校の児童たち

